

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Amie Plus (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 17日		~ 2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日		~ 2025年 12月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での日常的なコミュニケーションの中で、支援についての相談や意見交換ができていて、支援プログラムの提案や環境への工夫の幅が広がっていること。	得た知識や発案をすぐ支援に反映できるよう行動に移すことを意識している。	単一で終わらず、フィードバックをコミュニケーションの中でおこなうことで次へ繋げていく。
2	全ての支援員が同じ質と同じ意識で支援を提供し、保護者とのコミュニケーションや子どもへの対応のチームワークができていて。	ミーティングノートを活用 会議議事録や資料の迅速な情報共有をおこなっている。	より多くの職員が充実した研修に参加できるよう、利用者がいない時間を有効的に活用していく。
3	利用者の様々な経験と多様な活動プログラム実施のため、毎日専門知識をもつ講師による習い事を実施したり個別支援や小集団での活動を展開していること。	子どもたちの様子から今必要な課題と支援は何か協議し、活動のねらいに取り入れている。	それぞれの活動において、より良い支援の提供ができる形を検討し、実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容によっては、空間が十分ではない場面もあり活動内容や方法を調整したり導線確保の工夫が必要になること。	子どもたちの体格的な成長と空間活用について、日々安全に配慮しながら環境づくりをしていくこと。	活動内容に応じて環境づくりの工夫をしていく。 安全に活動できるよう、1日のプログラム設定と職員の配置、時間設定を工夫していく。
2	保護者間のコミュニティーの場や外部連携、交流の場が少ないこと。	ペアレントトレーニングや親子教室など、実施したいと思っていることも経験不足により実施に至らないこと。	積極的な研修参加と実施するための計画会議を密にし、様々なイベントにチャレンジしていきたい。中長期でのスケジュール調整と可能な取り組みを検討していく。
3	送迎を行っていないため、保護者の方の送迎が必要なので負担をかけることになる。	スムーズに保護者と離れられるような声掛け、環境を整える。	送迎がないことが負担ではなく利点になるよう、保護者とのお話をする機会を増やし、子どもの状態や様子を細かく伝えていく。